

日進市環境基本計画

年次報告書<やわらか版>

令和4年度

(令和3年度実績)

「無農薬・有機栽培

お米作りの1年を体験しよう」

折戸町にある休耕田で1年をかけ、米作りと田んぼにおける生態系について学びました。

(表紙写真)



「2024年のこどもたちへ」



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



目次

環境基本計画について.....	2
水	4
緑	6
まち	8
ライフスタイル.....	10
コミュニティ.....	12
遊びと学び.....	14
市民意識調査から見た目標に対する達成状況.....	16

ハイライト

令和4年度の取り組みを紹介します

環境基本計画について

2024年(R5年)の未来像(ビジョン)は？

水

- ・日進市を流れ下る天白川は美しく、その源である三本木川や岩藤川は眩いばかりに輝いている。
- ・天白川だけではなく、街の至る所に飲みたくなるような水と、ずっとそこにいたくなるような情景をたたえた水辺がある。



緑

- ・東部丘陵は自然公園として昔と変わらない多様な自然環境を保ち続けている。
- ・日々人の目を楽しませる公園や街路樹など都市の緑は、里山の緑と繋がり、生態系を結び付けるだけでなく、地球温暖化防止にも一役買っている。



まち

- ・住宅街では、親しみのある街並みが昔と変わらず、人々のコミュニティを守り続けている。
- ・人々はマイカー利用を控え、安全な道路を徒歩や自転車で移動し、便利な公共交通機関を使うようになっている。



ライフスタイル

- ・街並みは変わらずとも、人々の生活様式は20年前と様変わりし、排水への配慮、省エネルギーなど自然にやさしい生活をしている。
- ・街を歩いているだけでも、不法投棄や散乱ごみのない美しいまちになっている。



コミュニティ

- ・人々やその活動は、コミュニティでよくまとまり、活発に情報発信している。

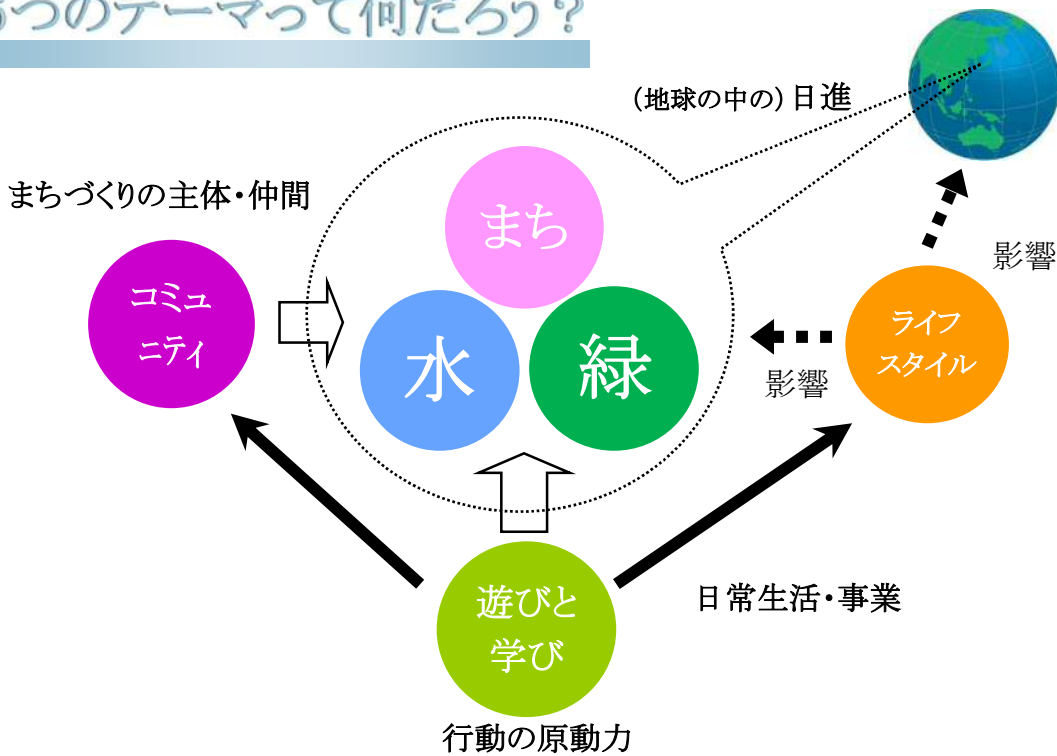


遊びと学び

- ・自然、環境について学んだり、気づいたりできる楽しいことがたくさん用意されている。



6つのテーマって何だろう？



今は、計画のどのあたり？

環境基本計画は、計画期間の中で短期目標(5年間)と長期目標(10年間)を立てて進めています。今回は、長期目標の設定年度である令和3年度の実績報告です。

▼長期目標達成に向けて…

長期目標のゴールである令和5年度に向けて取り組みを進めています。達成している項目については引き続き維持するよう取り組みます。一方で達成されていない項目の中でも、年々指標が良くなってきている項目や悪化したり向上したりというように横ばいになっているものもあります。残すところ令和4年度及び5年度の2年間となりましたが、一つでも多くの項目が目標を達成できるよう、また、達成できないものでも指標が改善するよう取り組んでいきます。

START



2004.4
(H16年度)

2022.3 (R3年度)

GOAL

2024.3
(R5年度)

環境基本計画



「環境」「基本」「計画」という3つの言葉の組み合わせでできているこの計画

県や市などそれぞれの自治体が独自に作る「自分たちのまちの環境をこんなふうにしていこう!」という基本的かつ重要な行政計画のことです。

計画の経緯

日進市では、平成13～15年度の3年をかけて、市民と市職員との共働で「日進市環境基本計画」をつくりました。

中間の見直し(平成25年度)では、ESD(※P14参照)の推進と多様な組織の参加、連携促進を盛り込んでいます。

水

14 海の豊かさを
守ろう



6 安全な水とトイレ
を世界中に



海洋プラスチックごみ問題

プラスチック製のペットボトルなどは適切な処分がされないことにより、河川から海に流され海洋プラスチックごみになります。そうしたごみが海洋汚染や生態系に影響を及ぼすことが問題視されています。

日進市では小学校の出前授業として、折戸川にホテルを飛ばそう会が、ホテルの生態の学習とともに河川の環境保全の大切さについても学習の機会を与えています。

ポイ捨てを行わないのはもちろんですが、日頃からマイバッグやマイボトルを持ち歩くなど、プラスチックごみを減らす行動が求められます。

[環境課 ESD推進係]

TEL: 0561-73-2896

水について

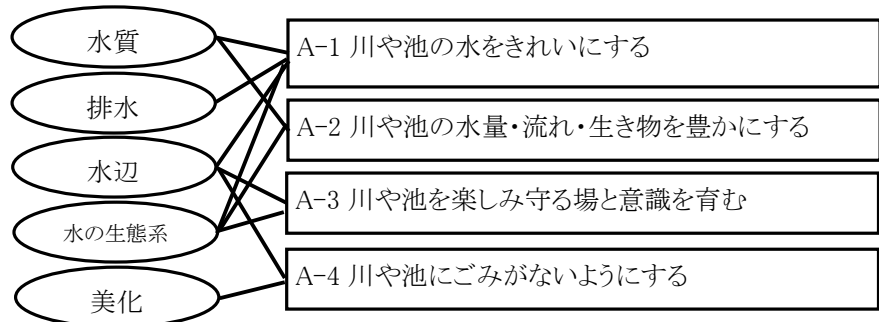
日進で「水」と聞いて真っ先に思い浮かぶのは、市域を東西に流れる天白川とその支流です。あるのが「当たり前」になっている水ですが、私たちにとってかけがえのない、無くてはならないものです。水は気体や個体などさまざまな形に姿を変え、私たちの生活にかかわっています。そして水は何度も自然の中で循環し、再生を繰り返しています。

きらきら光る水面、そこに映る季節の景色、鳥たちが舞い、魚が躍る、そんな美しい水辺であるように、河川やため池、排水の調査を行うことで川の現状を知り、川がきれいになるにはどうすればよいかを考えていきます。また、市民の憩いの場として、「ふるさと日進」の大切な要素としてまちづくりに活かしていきます。

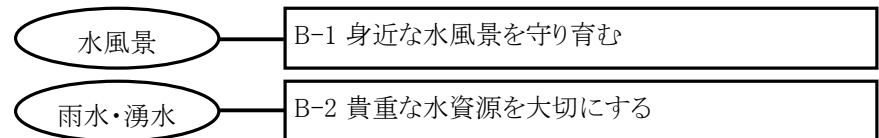


何をするの？

◆ A. 川や池の水と水辺



◆ B. 水の風景・水資源



何をしたの？(R3年度の取り組み<抜粋>)

日進市を源流とする天白川のことを詳しく知るため、「天白川おもしろ体験バスツアー」が生物多様性日進市民協議会の企画により開催されました。天白川の源流から岩崎川との合流地点までを移動しながら観察したり、川に入って水生生物調査を行ったりすることで、天白川やその周辺に生息する生き物の生態系を知りました。このことから、これらの生き物が生きていくためには、川の水質維持が必要であることや自然環境保全が大切であることを学びました。今後の日常生活に役立つきっかけとなりました。



生活排水を考えましょう

川や海の汚れは、台所・洗濯・風呂などの生活雑排水が主な原因となっています。

きれいな水環境を守るためには、日常での生活排水対策や浄化槽を正しく管理することが大切です。

合併浄化槽は、家庭から出る水の汚れの約90%を除去することができます。

単独浄化槽から合併浄化槽へ転換の際には、費用の一部を補助します。

詳しくは、環境課までお問い合わせください。

[環境課 環境保全係]

TEL:0561-73-2843

どうなったの？

判断する基準		単位	H24実績	R3実績	長期目標 達成状況	長期目標【R5】
A1	河川のBOD平均値 (各河川測定地点値)	mg/L	2.8	3.2	達成	5以下
	生活排水処理率	%	83	91.8	未達成	93
A2	多自然型河川・親水公園等の整備箇所数	箇所	—	—	未達成	10
A3	水生生物調査延べ参加者数	人	575	1,186	未達成	2,000
A4	河川愛護団体数	団体	10	10	未達成	20
B1	ため池の数	箇所	44	40	未達成	現状維持
	1人1日当たりの水道使用量	L	233	234	未達成	210 (10%減)
B2	浄化槽雨水貯留施設転用補助数(累計)	世帯	75	78	未達成	108

緑



緑の基本計画

本市における緑豊かなまちづくりを市民と協働して進めていくために、緑に関する指針となる計画です。旧計画策定から10年が経ち、計画の満了を迎えるとともに、緑に関する情勢の変化に対応するため、令和2年度に計画の改定を行いました。

「みんなでつくろう 後世まで良質な緑で豊かさを感じられるまち 日進」を基本理念とし、緑の保全・活用・創出・支援に取り組んでいきます。

詳しくは、都市計画課までお問い合わせください。

[都市計画課 公園緑地係]

TEL:0561-73-3297

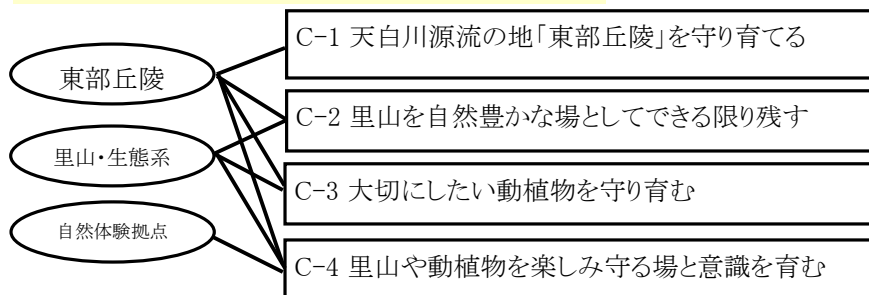
緑について

緑のある風景といえば、里山や田畑など、日本のふるさとの原風景を思い浮かべる人も少なくないでしょう。緑は生き物の命を育み生態系をつなぐ場となっています。また、光合成により二酸化炭素を吸収し、地球温暖化の抑制にも役立っています。こうした森や緑がなくなるということは、空気やそこで暮らす生物たちのつながりもなくなってしまうことになります。

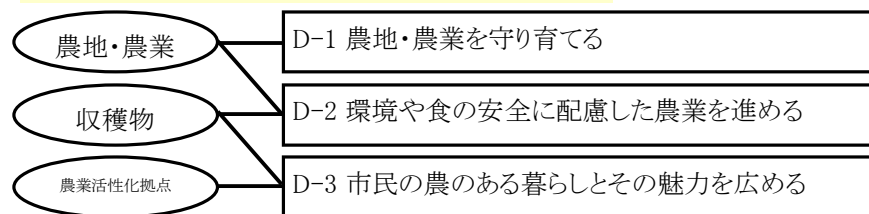
市の東部には、緑豊かな自然が残されています。このような多様な自然環境を守るとともに、人々が自然を感じ学ぶ場所を次の世代へ引き継いでいくこと、また農地・農業にも関心をもち、農業がもっと親しみやすいものとなるよう、地域の農業を活性化し人と緑、人と人を結びつけるようなみどりあふれる豊かなまち、日進を目指しています。

何をするの？

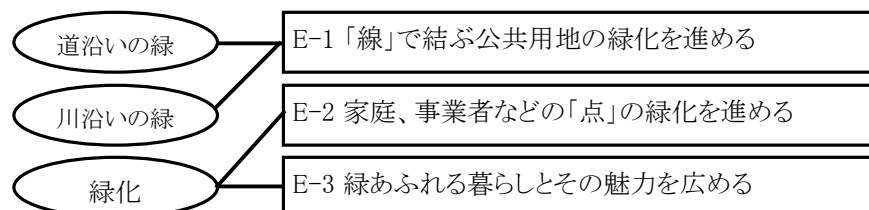
◆ C. 里山と息づく動植物



◆ D. 農のある暮らし



◆ E. 緑のネットワーク



何をしたの？(R3年度の取り組み＜抜粋＞)

北高上緑地はじめ、日進市には多くの里山があります。里山とは、人里に隣接し、人の手によって環境維持・管理してきた農地、ため池、草原などで構成される地域を指します。里山は緑豊かな自然を残すだけでなく、多くの生き物の生息地となっています。

日進市では、里山と触れ合う機会を創出することで、里山を守り育てるための仕組みづくりを行っています。その取組としてシイタケ栽培体験、竹炭作りなど、里山の自然の豊かさを感じられる講座などを開催しました。また、里山保全の新たな担い手づくりとして、里山保全実践講座を開催し、参加者は座学と実践を通して、里山の整備方法や里山に住む生き物について、楽しみながら学びました。

日進市の豊かな農について知り、農を身近に感じ、体験し、農に関わる楽しさ、大切さを伝え、日進市の豊かな農のある環境を守っていくための取組として、農業者やNPOなどによる親子で体験できる米作りや野菜作りの農業体験プログラムや地元農産物を使用した伝承料理講座が開催され、新たな農産物の6次産業化の取組として、和菓子屋とコラボし、日進市のもち米「こはるもち」を使用した商品を発売しました。

どうなったの？

判断する基準		単位	H24実績	R3実績	長期目標達成状況	長期目標【R5】
C1	森林面積※	ha	654	630	達成	593以上維持
C2	里山保全活動拠点数	箇所	6	6	未達成	10
C3	大清水湿地に発現すると見られる10種の希少種保護数	種	9	9	未達成	10
C4	日進自然歩道延長	km	5	6.8	未達成	30
D1	農地面積	ha	470	433	未達成	452以上維持
	休耕田の面積	ha	56	40.5	達成	41
D2	学校給食における地場産物の使用率	%	57.7	53.6	未達成	60
D3	市民菜園区画数	区画	1,111	1,231	未達成	3,000
E1	緑地率(緑被率)※	%	41	-(31)	未達成	39 確保
E2	公園等愛護会活動公園数	箇所	51	65	未達成	84
E3	市民に開放された樹林地箇所数	箇所	14	15	未達成	50

※これまで用いていた緑地率は、市において民間施設緑地率が把握できないことから、緑の基本計画において緑地率の代替として緑被率を用いることとしたことにあわせて、R3から緑被率に変更しました。

生物多様性

地球上には、3,000万種ともいわれる多様な生き物がいます。

生物多様性とは、いろいろな生き物がお互いにつながりあい、支え合って豊かな生態系を築いていることです。

私たちの暮らしは水、食べ物、資材や技術など、あらゆる場面で生物多様性の恩恵を受けています。これらは私たちの豊かな生活に欠かすことはできないものです。

長い年月をかけて築かれてきたこのつながりが今、危機に直面しています。開発や地球温暖化、外来種など、近年、生態系のバランスが急速に崩れてきています。

生物多様性を守りながら、それによってもたらされる恩恵をずっと先の未来でも受けられる社会を作っていくための取組が必要とされています。

まち



くるりんばす

くるりんばすは、日進市の生活交通手段として運行しており、その利用者の約半数が65歳以上の高齢者です。また、通勤や通学にもご利用いただいています。

環境への取組としては、排出ガス規制に適合し、燃費効率の良いバスを使用することで環境負荷低減に取り組むべく、平成29年度より計画的にバスの買い替えを実施し、令和3年度で7台全てのバスの入れ替えが完了しました。

また、「みんなが支える公共交通が、活力とにぎわいを生むまち」を基本方針とした日進市地域公共交通計画を策定しました。計画に位置付けた事業である「環境にやさしい公共交通を便利に利用できる環境整備の推進」を実施していきます。

[防災交通課 移動政策室]

TEL:0561-73-3249

まちについて

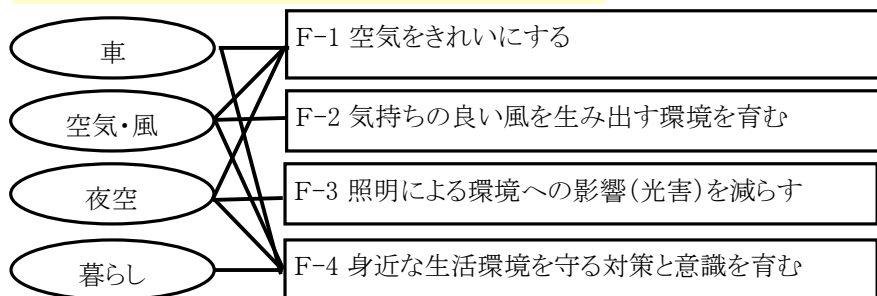
環境には、自然だけではなく、私たちが暮らす場所も含まれています。歴史や文化、住みやすさなど、人が暮らす空間を「まち」ととらえ、暮らしや住環境について考えています。

住環境に目を向けると、地球温暖化の要因の一つである車の排気ガスが問題となっています。そこで、低公害車の普及や公共交通機関の利用を進めることで車中心の生活を見直して、自然と調和した、市民が憩い、歩きながらまちを楽しめる空間を作り出すことを目指しています。

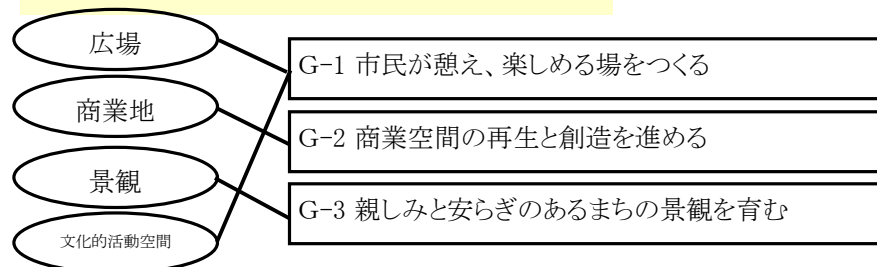
また、昔ながらの建物は今でも人々の手で大切に守られていて、歴史や文化を継承して活かすことにより愛着の持てる、誇りにできる「まち」を創り出すという、環境保全と市街化という、一見矛盾したものを調和させながらまちづくりを進めています。

何をするの？

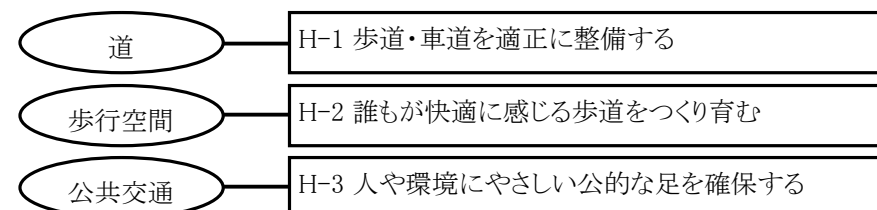
◆ F. 生活環境



◆ G. まちなみ・まちかど



◆ H. みちと足



何をしたの？(R3年度の取り組み＜抜粋＞)

日進市は、都市に隣接していながらも、天白川流域の平地に農耕地が広がり、東部丘陵など、自然が多く残されている地域があります。そんな緑が多く残る日進市ですが、近年では住宅地としての開発が進んでいます。生活の中で緑を増やす取組として、平成22年度から「緑のカーテンコンテスト」を開催しています。令和3年度は一般部門50件、公共施設部門36件からコンテストに参加があり、毎年継続的に取り組まれています。

緑のカーテンは夏を涼しく過ごせるだけでなく、二酸化炭素の削減やヒートアイランド現象の緩和にもつながります。身近な場所で緑を増やすことで、豊かな森と緑を大切にする心を育むとともに、一人ひとりが省エネ行動をとることのきっかけづくりになり、環境意識の向上につながる効果がありました。



どうなったの？

判断する基準		単位	H24実績	R3実績	長期目標達成状況	長期目標【R5】
F1	大気汚染に係る環境基準適合率	%	100	100	達成	100
	エコドライブ宣言者数	人	0	972	未達成	4,000
	市所有自動車のエコカー導入率	%	57.8	51	未達成	100
F2	緑のカーテン延べ参加者数	人	558	1,194	未達成	2,000
F3	光害苦情処理件数	件	0	0	達成	0
F4	公害苦情処理件数(光害を除く)	件	125	87	達成	113
G1	市民一人あたりの公園面積	m ²	9.0	8.5	未達成	10
G2	事業所数	件	2,383	2,066	未達成	2,350
G3	まちなみ保存地区数	地区	0	0	未達成	2
H1	幹線道路の歩道整備率	%	78.3	80.4	未達成	85
H2	道路緑化	m ²	24,780	27,504	達成	26,000
H3	くるりんばすの一日あたり利用者数(元中央線(名鉄バス)含む)	人	1,404	664(951)	未達成	1,600

※大気汚染に係る環境基準適合率は、浅田町と五色園の大気測定データが環境省の基準を満たしているため達成となっています。

日進市小規模企業・
中小企業振興基本条例

この条例は、市の発展に重要な役割を担う小規模企業者等がさらに発展していくために、市、事業者、関係機関等が連携して小規模企業等の振興に取り組む姿勢を示すものです。

今後は、この条例に基づき小規模企業等振興施策を策定・実施し、地域経済の発展や市民生活の向上を図ります。

[産業振興課 商工新ビジネス係]

TEL:0561-76-7366

ライフスタイルについて

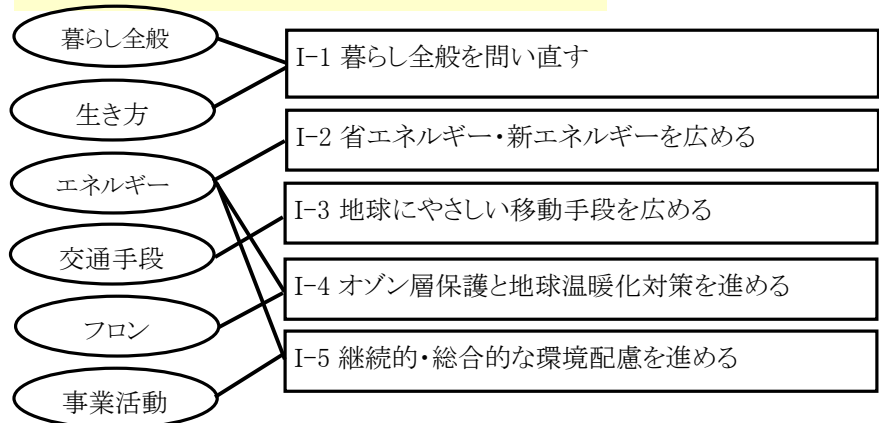
現代の私たちのライフスタイルは、環境に大きく影響を与えます。そして私たちが便利な生活をするほど、地球の環境は悪くなっていきます。そんな私たちの現代的なライフスタイルや考え方を改める必要があるかもしれません。

でも、やっぱり便利でやめられない。なんとかしなくちゃ、そんな想いはあっても、何をすればいいのか分からない。そういう人も多いのではないのでしょうか。市では、地球温暖化やごみ問題などについて、生活しながらできる取り組みを広報、ホームページ、メールマガジン等で情報を発信しています。

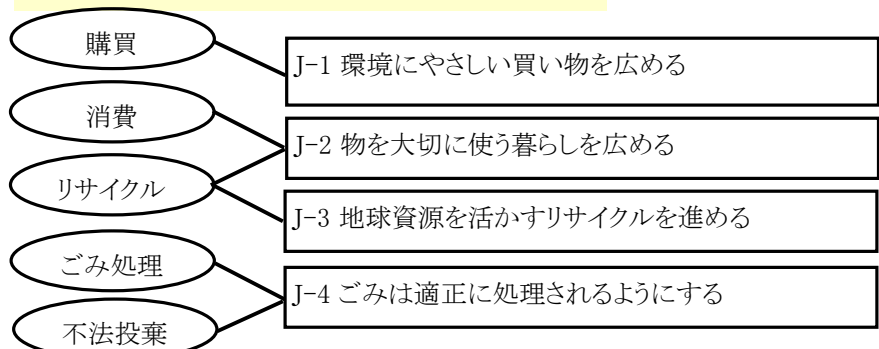
その他にも、情報を伝えられた人の「行動につながる」効果的な情報の一つに口コミがあります。そこで講座やイベントなどの機会を設け、参加者の口から口へと伝わることで、一緒に楽しむ仲間が増え、こころと体にもやさしいエコ生活を始めてもらいたいと考えています。

何をするの？

◆ I. 暮らし全般・エネルギー



◆ J. 生活と廃棄物



ライフ
スタイル

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



COOL
CHOICE

COOL CHOICE

日進市は、令和4年2月に2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、地域全体で取り組むことを宣言しました。

人口増加を続ける本市においては、家庭部門での二酸化炭素排出量を削減する取組が大切となります。

今後も、家庭部門での二酸化炭素排出量削減対策としてクールチョイス(二酸化炭素の排出を削減しながら、快適な暮らしにもつながる「賢い選択」をしていこうという取り組み)の普及啓発を推進していきます。

【はじめよう！COOL CHOICE】

- ・夏はクールビズ(室温28℃を目安)、冬はウォームビズ(室温20℃を目安)
- ・省エネ家電をチョイス
- ・エコモビに挑戦
- ・緑のカーテンを育てよう
- ・宅配便は1回で受け取る

など

何をしたの？(R3年度の取り組み＜抜粋＞)

環境に配慮した消費の仕組みの一つに、地産地消があります。地産地消は輸送による環境負荷を抑えるだけではなく、生産者と消費者が共に日進市の農を支え、豊かな農のある生活を守っていくことにつながります。

農業者の高齢化や担い手不足などで農業ができなくなった農地が増加する中、新たに参入した農業法人がそれらの農地の集約を進め、農産物の生産量の増加が見込めるようになったため、市と地域活性化包括連携協定を締結するセブン-イレブン・ジャパンの市内等の店舗で販売する惣菜、弁当などに日進市産農産物を使用する検討を始めました。

また、日進市に活動の拠点を置くベンチャー企業と連携し、今まで流通されなかった規格外の農産物を含む地元の農産物をより身近に購入できるよう、地域に農産物の自動販売機を設置するための実証実験を市役所などで行い、多くの市民に購入をしていただきました。



どうなったの？

判断する基準		単位	H24実績	R3実績	長期目標達成状況	長期目標【R5】
I1	エコライフ宣言者数	人	0	1,861	未達成	3,000
I2	太陽光発電設備設置世帯割合	%	4.0	10.2	未達成	25
I3	市内3駅の乗降客数	人	37,590	数字は年末頃	未達成	54,000
I4	市役所環境保全のための行動計画達成率	%	84.1	82.2	未達成	100
I5	ISO14001取得事業者数 (エコアクション21取得者を含む)	社	21	28	達成	25
J1	環境配慮宣言店舗数	店	79	85	達成	向上
J2	フリーマーケット開催数	回	1	0	未達成	5
J3	リサイクル率	%	27.2	26.7	未達成	28.3
J4	1人1日当たりのごみ排出量	g/人・日	939	803	未達成	770
	不法投棄量	t	43	11	未達成	9

日進市一般廃棄物処理基本計画を作成しました

平成28年度の見直しから5年が経過し、ごみ・資源量の現状や社会情勢の変化等に対応するため、日進市一般廃棄物処理基本計画を見直しました。

令和8年度の計画目標達成に向けて、更なるごみの減量、再生利用の促進、最終処分(埋立)量の低減等を目指した取り組みを進めていきます

詳しくは、環境課までお問い合わせください。

【環境課 資源循環係】

Tel: 0561-73-2843

コミュニティ



にぎわい交流館

にぎわい交流館は、市民自治活動支援の拠点及び国際交流・大学交流の拠点として、また、広く市民の皆様が交流できる場となるよう、平成17年11月に誕生しました。

1階市民サロンは、待ち合わせ、おしゃべり、くるりんぱす待ちなど、いつでも気軽にご利用いただけます。また、月曜日から土曜日のお昼には、ワンデイシェフによるランチの提供も行っています。(新型コロナウイルス感染症の影響により、一部制限をかける場合があります。)

2階では、日進市国際交流協会において、多言語による外国人相談室を開設しているほか、人権・男女共同参画情報コーナーでの関連図書の見学や貸し出しも行っています。

詳しくは、にぎわい交流館までお問い合わせください。

[にぎわい交流館]

TEL:0561-75-6650

コミュニティについて

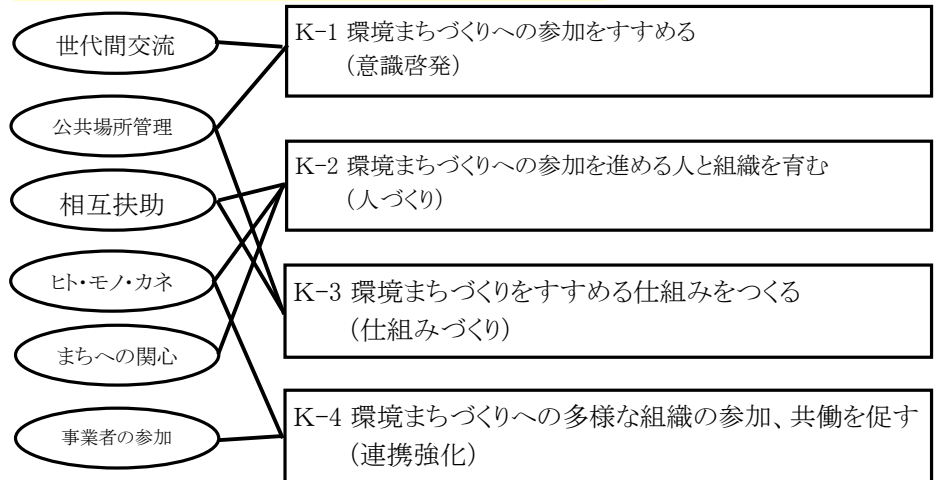
現代環境とコミュニティには、とても深いつながりがあります。コミュニティは人間が「いきる」環境そのもの。コミュニティは、環境まちづくりの大切な要素なのです。

どんなまちづくりも、いちばん大切なのは人と人のつながりというソフト面。素晴らしいハコやキマリができて、そこで暮らす人たちが仲良くいきいきとしていなければ、意味がありません。そのために、環境というどんな立場の人たちにも等しく関わる視点をもって、人と人とのつながりを作って深めていくことが大切なのです。



何をするの？

◆ K. コミュニティ



何をしたの？(R3年度の取り組み＜抜粋＞)

市民や市民団体、企業と行政が皆で作上げる仕組みとして「にしん環境まちづくりサポーターズ制度」を平成28年度から実施しています。市民や団体の皆さんに会員になっていただき、いろいろなエコ活動を実践していただくことで、にしんの環境まちづくりを進め、持続可能な社会の実現を目指して作られました。サポーターズ会員には、令和3年度末までに延べ2,338件の方に登録いただいています。

この制度は、環境課が進めるESD(持続可能な開発のための教育)の活動支援も伴っており、ESD環境講座、市の環境イベントに参加、緑のカーテンコンテストへ参加、地球温暖化対策機器補助金申請など、環境まちづくりに関わる講座等へ参加した市民の方にポイントを交付しています。また、他の部署のイベントである、北高上緑地見学会やにしん健康マイレージなどへの参加においてもポイントを交付しています。

令和3年度においても、集めたポイントに応じて素敵な景品があたる抽選会を開催し、開催にあたり、多数の事業者様から協賛品の提供やご寄付を賜りました。今後も、環境まちづくりのために様々な取組を行う市民、市民団体、事業者等の連携を支援する事業として推進していきます。



日進市環境基本計画
パートナーシップ事業

市民団体の皆様が行う環境活動や環境イベントで、日進市環境基本計画のパートナーとして計画を推進していただける事業やイベントを募集しています。※日進市市民活動団体登録を行っている団体が対象です。

【R3年度実績 7団体8事業】

- ・折戸川にホテルを飛ばそう会
『折戸川ゴミ拾いウォーク』
- ・天白川で楽しみ隊
『天白川で楽しみたい!』
- ・日進岩藤川自然観察会
『日進岩藤川自然観察会／愛知池自然観察会』
- ・日進市・ペット共生文化を考える会
『飼い主マナーの普及事業』
- ・にしん市民環境ネット
『農育プロジェクト』
- ・にしん地域猫の会
『猫の譲渡会&相談会』
- ・ワンズパス(one's path)
『学用品ゆずりあいプロジェクト』
『食品ゆずりあいプロジェクト』

(50音順)

[環境課 ESD推進係]

TEL:0561-73-2896

どうなったの？

判断する基準		単位	H24実績	R3実績	長期目標 達成状況	長期目標【R5】
K1	区・自治会加入率	%	71.1	72.7	未達成	80
K2	にぎわい交流館の利用者数	人	35,550	11,263	未達成	41,000
K3	環境パートナーシップ協定締結団体数 (環境まちづくりパートナーシップ制度団体数)	団体	— (—)	— (54)	達成	20
K4	地域活動参加事業者数	事業者	14	2	未達成	20

※「環境パートナーシップ協定締結団体」については「-」となっていますが、市の方針としては環境まちづくりパートナーシップ制度の団体数に統合しています。こちらの団体数は順調に伸びているため、施策の目的は達成できていると判断しています。

遊びと 学び



ESDとは？

ESDとは、「Education for Sustainable Development」の略称で、「持続可能な開発のための教育」と訳されます。

今、世界には環境、貧困、人権、平和、開発といった様々な問題があります。ESDとは、これらの現代社会の課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組むことにより、それらの課題解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そしてそれによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動です。

日進市では講座などを通して、ESDの考え方を取り入れた人づくりを行っています。



遊びと学びについて

このテーマでは、ESDの考え方である「人と自然」「人と社会」「人と人」のつながりを大切にし、様々な世代の方に、遊びの中で学びながら環境まちづくりやそれにつながる活動を進める力を身につけてもらい市民全体の環境に対する感性をみがいていきたいと考えています。

代表的な取り組み

にっしんESD講座

日進市で活躍する市民団体と共働で行っている「公募提案型事業」では、環境基本計画の施策に沿った「水・緑・まち・ライフスタイル・その他環境全般に関する環境共育」に関する講座を実施しています。また、その他にも企業と連携した学習講座も多く実施しています。



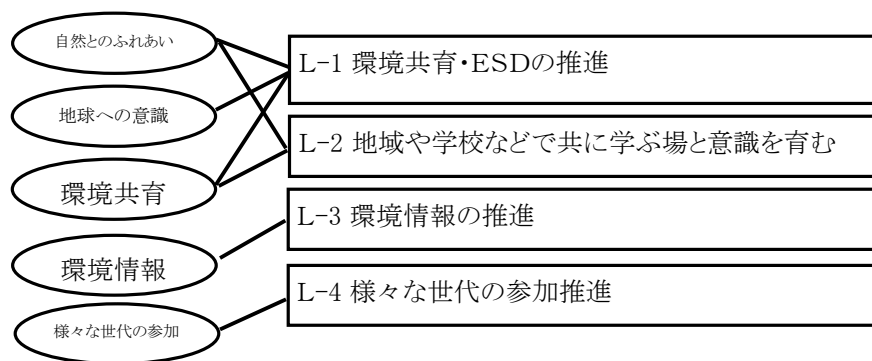
(写真左: にっしんESD講座「ハーブを使った香りの小物作り」より)



(写真右: にっしんESD講座「地球温暖化省エネ教室」より)

何をするの？

◆ L. 遊びと学び



何をしたの？(R3年度の取り組み＜抜粋＞)

子どもの主体性や協調性、社会性などの自己形成を助け、自己肯定感を高めるとともに、自身の様々な課題に柔軟かつたくましく対応し、社会人として自立していくことができるようなキャリア教育を推進する事業として、令和2年度に引き続き「子どものまち事業」を実施しました。

「大人は立入禁止」のコンセプトのもと、小学5年生から中学3年生の総勢85名の実行委員を中心に、どんなお店をつくるのか、どうすればみんなが楽しく暮らせるかなど、「自分がやりたいこと」と「来る人が安全に楽しく過ごせること」の両立を試行錯誤しながら、「子どもだけのまち」を作り上げました。

令和2年度にも参加した子どもたちは、前回うまくいかなかったことを踏まえ、より良い「まち」をつくれるよう取り組みました。



どうなったの？

判断する基準		単位	H24実績	R3実績	長期目標達成状況	長期目標【R5】
L1	環境共育講座数	講座	16	68	達成	30
L2	環境パートナーシップ事業数	件	4	8	未達成	20
L3	エコフェスタ参加団体数 (にっしんわいわいフェスティバル参加団体数)	団体	31	66(20)	達成	40
L4	こどもエコクラブへの参加こども数※ (環境まちづくりサポーターズこども会員数)	人	106 (-)	11 (548)	達成	300

※「こどもエコクラブへの参加こども数」については減っていますが、代替として環境まちづくりサポーターズ制度の会員数に統合しています。こちらの会員数は順調に伸びているため、施策の目的は達成できていると判断しています。

持続可能な社会の実現

パリ協定や持続可能な開発目標(SDGs)などを背景として、環境(Environment)、社会(Social)、企業統治(Governance)(以下「ESGという。」)の3分野への取組を踏まえた資金の流れが世界的に広がっています。事業者が持続可能性の基盤となるESG要素を取り入れ、環境課題と経済・社会的課題の同時解決に向けた取組を広めていくことで、地域の持続可能な成長につながることを期待されます。

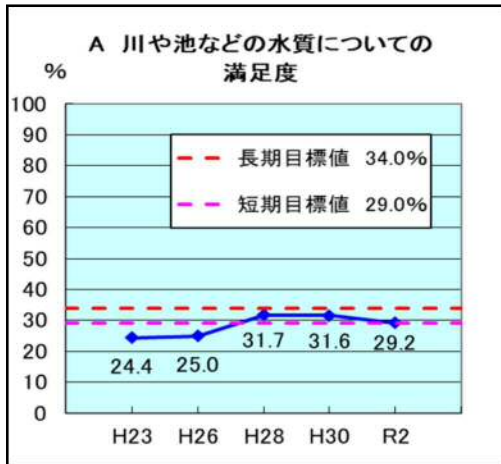
日進市においても、ESD・SDGsの推進のため、SDGsカードゲームを用いた職員研修などを実施しており、ゲームを通して社会課題の相互のつながりに気づくことから、課題を共有し、連携していくことの大切さを実感し、業務に活かしていきます。

市、市民、事業者がそれぞれの立場で課題解決に向けて取り組むことで、持続可能な社会の実現を目指しましょう。

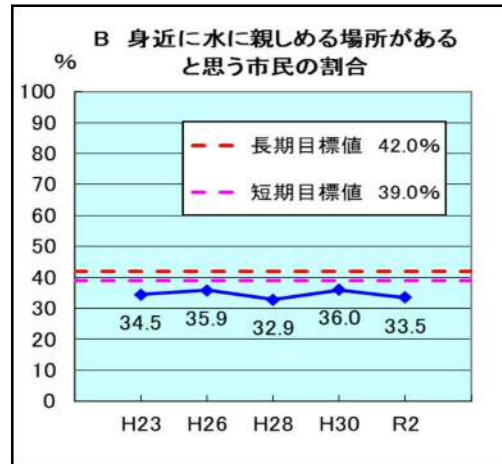
市民意識調査から見た目標に対する達成状況

市民意識調査って何だろう？

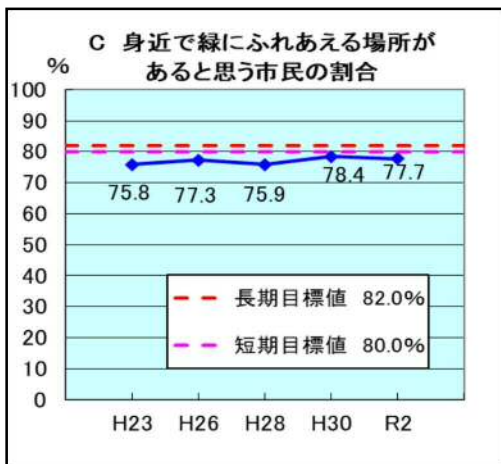
日進市総合計画(※1)に掲げる各施策の進行管理及び評価を行うために、2年に一度を目安として行う調査です。



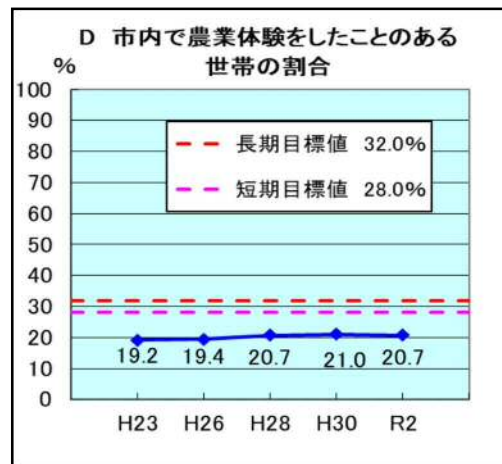
※水環境についての設問です。



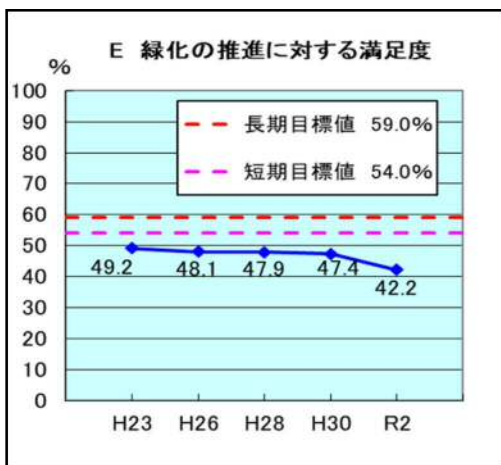
※水辺環境の保全・創出についての設問です。



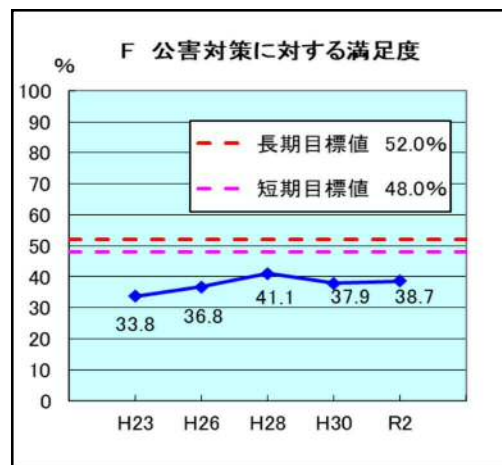
※緑地環境の保全についての設問です。



※市民に親しまれる地産地消・交流型農業の推進についての設問です。



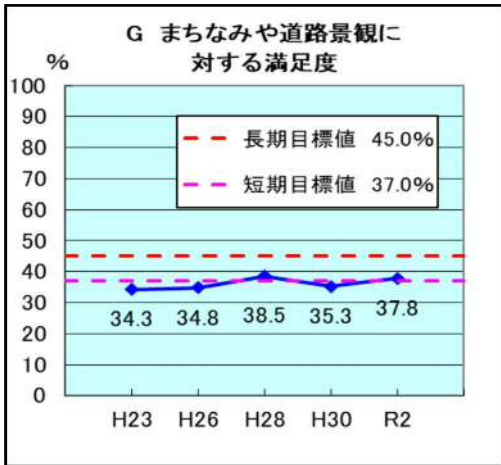
※緑化推進・緑地保全についての設問です。



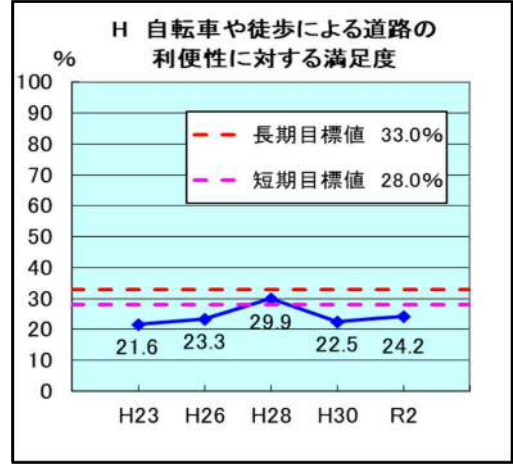
※地域環境の向上についての設問です。

【調査概要】

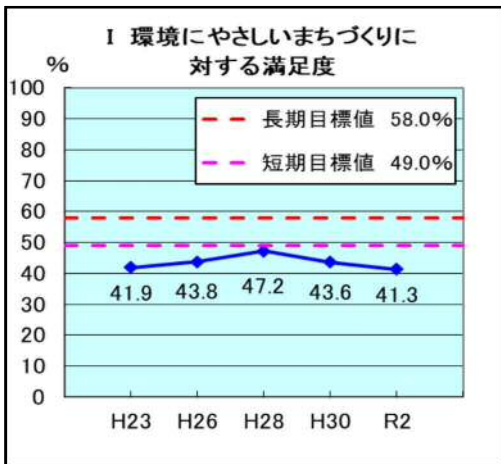
1. 調査対象：日進市在住の18歳以上の方
(令和2年10月1日現在)
 2. 抽出方法：無作為抽出
 3. 調査方法：郵送配布・郵送回収
 4. 調査時期：令和2年10月23日～11月6日
 5. 配布数：3,000票
 6. 有効回収票：1,399票
 7. 有効回収率：46.6%
- ※回収できた回答から、集計に不適切な回答を除いた割合



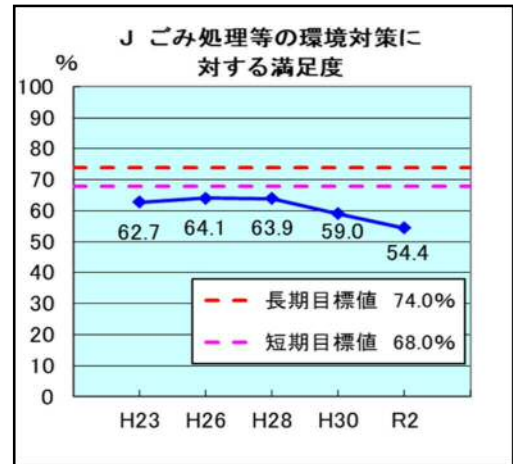
※景観についての設問です。



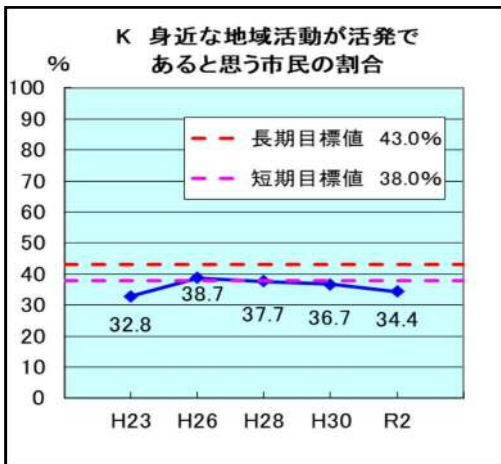
※交通環境整備による安全性の確保についての設問です。



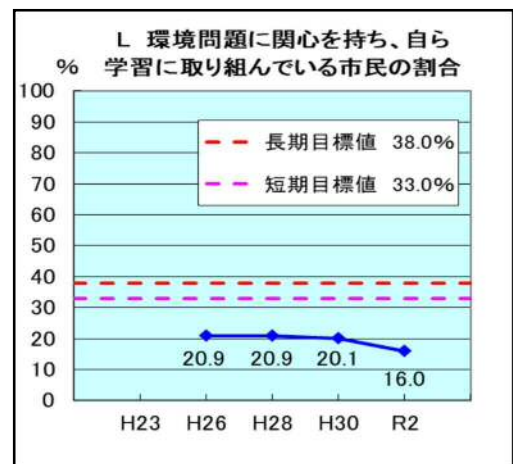
※低炭素社会に向けた取組についての設問です。



※ごみの適正処理と再資源化の推進についての設問です。



※地域コミュニティ活動の活性化支援についての設問です。



※環境意識の向上についての設問です。

※2 各表の割合は、環境や日常生活に関する暮らしやすさの評価の設問において、満足している人の割合です。

※3 「L」にH23の記載が無いのは、H23とH26で質問内容が変わったことにより比較ができないため、この項目に限りH26を基準値としています。

令和4年度の取り組みを紹介します！

ESDの考え方を取り入れた人づくりでSDGsに貢献！

日進市ではSDGs達成に貢献できるよう、ESDの考え方を取り入れた人づくりを行っています。令和4年度も生き物や自然、環境にやさしい生活など、体験しながら楽しく学べるESD講座を多数開催します。どの講座も、「未来の地球のために自分にできること」について考えるきっかけとなるような内容となっています。

また、各ESD講座は開催後、講座内容をまとめたレポートを公開しています。ESD講座のレポートは市のホームページでご覧いただけます。



ESD講座レポート

赤池駅周辺を路上喫煙禁止区域に指定しました

日進市生活環境の美化を推進する条例に基づき、令和4年6月1日から赤池駅周辺を路上喫煙禁止区域に指定しました。区域内では、たばこ(加熱式たばこを含む)を吸うことはできません。

喫煙する人もしない人も、誰もが快適に暮らせる環境まちづくりへご協力ください。

路上喫煙禁止区域の詳細は広報にしん2022年5月号、市のホームページをご覧ください。



【担当者のつぶやき】

令和3年度は延期されていた東京オリンピックも無事開催され、各国の選手たちの奮闘に感銘を受けた人も多いことでしょう。オリンピック憲章には、「持続可能性」が盛り込まれていて、気候変動や資源管理、生物多様性等、環境面での持続可能性も重要な開催テーマの一つとなっています。

今、世界各地で気候変動や生物多様性、海洋プラスチックごみ等さまざまな問題に直面しています。きっかけはオリンピックでも、テレビ番組でも、環境課の講座でもなんでもいいのです。皆さんが「より良い未来のために、自分ができること」を考える一助となれば幸いです。

日進市のSDGs

定着に向けた取り組み

日進市のSDGs定着に向けた取り組みとして、令和4年2月26日から3月6日の期間に環境課と図書館で連携した、SDGs・ESD推進イベントを実施しました。



イベント期間中はSDGs関連図書の特集や、SDGs・ESDについての解説や取り組みを紹介したパネル展示のほか、SDGsについて楽しく学べる講座も行いました。

この推進イベントは、令和4年度にも開催を予定しています。



[環境課 ESD推進係]

TEL:0561-73-2896



令和4年10月

発行:日進市

生活安全部 環境課

住所:日進市蟹甲町池下268番地

電話:0561-73-2896

FAX:0561-72-4603

Email:kankyo@city.nissin.lg.jp